

「不合格体験記」

神戸大学・理学部・数学科

荒木 大空

合格体験記を読んでやる気が急上昇した人が多いと思います。そして、家に帰り受験の情報を見て、「うわぁ、3年生の間にこんなにやらなくてはいけないの！無理だ。」などと思って結局インスタを見てしまう、というのが大半ではないでしょうか。やり始めることができたとしてもなかなか続きません。自分が伝えたいのは、役に立たない助言かもしれませんが、「とにかくやれ」ということです。これから他の人の体験記を読んだり、先生方の話を聞いたりすると思いますが、それらの助言は君たち一人ひとりに言っているわけではないのです。「勝負に不思議の勝ちあり、不思議の負けなし」です。合格者は合格した理由を書きますが、本当にそれだけなのかは分かりません。しかし、合格者がすべきでないことを避ければ、落ちる可能性は減ります。ただ、どの言葉が君たちを成功させるかは分かりません。だから、やって欲しいのです。まずは行動してほしいのです。やってみると、間違いなく失敗をします。その時にその理由を考えて、また行動してほしいのです。失敗を重ねるごとに君たち一人ひとりにとって大事な教訓が一つずつ得られます。そのようにして得られた教訓は、誰かの成功談よりずっと活きます。モチベーションが上がらない、ついスマホを使ってしまう、時間が足りない、何をやればいいのかわからない。そんな時には、焦らずに止まらずに、一つ一つ対応していけば、地道な努力をできるようになり、勉強だけではない学びが得られます。自分もたくさん失敗し、その数だけ学んできました。最後は失敗で終わりましたが。その時の学びが、「言うよりやれ」「調べるよりやれ」「やって、考えて、やる」です。これから辛い受験が始まります。はぼ失敗ばかりです。「最後まで諦めない」という言葉がありますが、自分なら「あきらめる前にやれ」です。やる気も体力も時間も足りません。だから考えてやってみる。ずっと考えて、ずっとやっているうちに点数なんて伸びてきます。最後に、具体的な事を言うと、まず、スマホ用のタイマー付きロッカーを買い、家に帰ったらスマホは封印しましょう。classiとリスニング以外は使ってはいけません。不便でしたが、本当に買ってよかったと思います。高いけど買きましょう。また、家に帰ったら、不合格体験記をぜひ読んでみてほしい。とても参考になると思います。これからきつい1年間になります。体調に気をつけて、1日10回くらい感謝して、たまにはペースを落として、でも、焦らずに、止まらずに頑張ってください。そして1年後に合格体験記が書けるようにしてください。応援しています。

「受験に向けて」

宮崎大学・工学部・工学科

池松克弥

高校3年生になり、いよいよ受験勉強開始だとは頭では理解していましたが、大学に進んで自分がやりたいことが見つからずに悩んでいました。周りの友人たちは「化粧品開発をしたい」や「建築関係に進みたい」と明確な目標を持っているように見えてましたが、私には何も見つかりませんでした。

しかし、面談期間に担任の先生との面談を通じて、自分自身が困った経験をきっかけに、自分が興味を持っていたことに目が向き始めました。その経験は、私が病院の案内板が分からず、どのように進めばよいのか途方にくれた経験からでした。私は人と話すのが得意ではないため、私のような人が初めて行く場所で困らないような何かが作れたらよいなと考えるようになりました。

この経験をきっかけに、私は知能情報について学ぶことに興味を持つようになりました。知能情報とは、情報科学や工学の分野で、人工知能や機械学習、ロボット工学などに関する研究や技術開発を行う学問分野です。自分が興味を持っていたことが、実は知能情報につながっていたことに気づいた瞬間、大学でこの分野を学びたいと思うようになりました。そこで、私は英検や九大プレテストを受験するなど、積極的に受験に向かいました。受験勉強は大変でしたが、自分がやりたいことを明確にして、努力することの大切さを再認識することができました。

共通テストでは目標にしていたスコアには届きませんでした。知能情報を学べる大学をいくつか受験候補にしていたことと、英検2級により2次試験の英語が満点になる宮崎大学を受験することにしました。同じ大学を受験するクラスメイトが複数人おり、みんなと一緒に、そして、無事に宮崎大学工学部に合格することができました。大学で学ぶことが楽しみであり、自分の夢に向かって一步一步進んでいけることをうれしく思います。大学受験は、自分と向き合い、やりたいことを見つけて努力することの大切さを再認識する機会でもありました。自分にとって本当に興味があることを見つけ、それに向かって努力することは、人生を豊かにするために必要なことだと思います。

勉強法についてですが、私は何か特殊なことをしていたわけではなく、授業の復習を大切にしていました。また、夜寝る前に英単語帳を5分くらい眺めていました。

そして最後に大切なことは、自信をもって受験に挑むことです。受験勉強は大変なこともあります。自分自身が本気で取り組んできたことに自信をもって、受験本番に挑んでください。みなさまが希望の進路に行けることを願っています。

「伝えたい2つのこと」

佐賀大学・医学部・看護学科

井手 穂奈美

私は、佐賀大学医学部看護学科を推薦入試で受験して落ち、一般の前期で最終的に合格することができました。しかしこの受験期はとても長く苦しいものでした。私がこの受験を通して皆さんに伝えたいことは2つあります。

1つ目は、早めに受験方式、科目などを把握しておくことです。私は最初、推薦入試での合格を目指しており、受験科目が小論文と面接であったため、合格できるだろうと安易に考えていました。しかし、この小論文が英文であることをあとから知りました。英語が苦手な私にとってこの対策はとても大変でした。また、友達も、いいと思った大学の受験科目と選択科目が合わなかったり、進路がなかなか決まらず行きたい大学が決まった時にもっと勉強しておけばよかったという後悔をしたりしていました。ここで伝えたいことは、1年生、2年生はあつという間に過ぎます。まだ、進路を調べなくても大丈夫と思うのではなく、早め早めに動いてほしいと思います。そして、将来何をしたいか決まっていなくても調べる中でしたいことを見つけることができると思うので、まずはたくさん調べて、たくさん検討して下さい。

2つ目は、互いに励まし合うことのできる友達と一緒に頑張ることです。途中でくじけそうになることも多くありましたが、乗り越えることができたのは、友達の存在がとても大きかったと考えています。土日や放課後も一人だったら学校に残り、勉強をすることはできなかつたと思います。友達と互いに励ましあい、先生や家族を頼って頑張りたいと思います。

受験勉強は団体戦です。周りの人はみんな味方です。きつく大変なことが多いですが諦めず、最後の最後まで何があるかわからないので頑張ってください。

「受験の現実」

宮崎大学・工学部・工学科

田中 洋耀

初めにこれから大変な受験期を体験するあなた方に、ある現実をお伝えします。それは大学受験において第一志望校に合格する確率です。ある有名予備校によると受験者数約70万の内第一志望校に合格できるのは約10パーセントといわれています。また全体の約20パーセントは浪人生なので現役生で第一志望校に受かるのはさらに少なくなります。三養基高校の場合だとクラスの上位3, 4人。学年で見たときには上位20人程度です。あなた方は、そのような状況で受験を行います。実際私も今の大学は第一志望の大学ではありません。そんな私から後悔したこと、しておけばよかったと思っていることをお伝えします。

一つ目は、大学調べです。共通テストで判定が悪いとき志望校を下げて国公立大に出願するのも戦略の一つです。しかし、共通テスト後に大学調べを始めようとする時間がありません。実際に共通テストが終わってから国公立大の前期までの日数を数えると約40日しかありません。40日というと結構あると感じますが、ここに私立の入試がはいたり英語の難しめの単語を暗記しなおしたり、理系なら数Ⅲをやりこんだりなど、意外と時間がありません。

二つ目は、情報を集めることです。例えば、参考書や勉強法についてです。受験では、学校の授業を聞くことも大切ですが、特に重要な事は自学自習です。自学の時にどのようなことをどのようにするかが成績の向上に直結します。授業の復習をするのか、問題集で基本問題や入試問題を解くのか、講義系参考書で先取りをするのか、1日1日の選択が重要です。また、夏前から受験に本腰を入れようとしている人は時間がなく焦る人が多いので参考書の復習をおろそかにする人がいますが、復習はできないことができるようになる効果的な勉強法なので焦らずしっかりやってください。

最後に、先生は私たちのことは考えてアドバイスをくれますが、私たちの将来に責任は持たません。何を決断するにしても自分のことについては自分で責任を持たないといけません。ですから、受験が終わったあとでタラレバがなくなるように未来の自分が納得できるような決断をしてください。自分を信じて頑張ってください。

「受験を通して」

佐賀県医療センター好生館看護学院

福岡 由菜

この学校で学んで、看護師になりたい。そう思って、この学校に進学することを決めました。しかし、元々は大学志望で、推薦入試と共通テストを受験しました。こんな私の経験から皆さんに伝えたいことが3つあります。

1つ目は、様々な学校のオープンキャンパスに参加して欲しいということです。実際に行くことで様々な体験ができたり、雰囲気を感じたりすることができます。特にその学校の先輩方の話を聞く機会があれば、様々なことを質問してみてください。パンフレットやネットに書かれていない学校の良さやリアルな学校生活を聞くことができます。また、志望理由書や面接がある学校ではオープンキャンパスで得た情報を利用できるかもしれません。ぜひ、1,2年生の頃から様々な学校のオープンキャンパスに参加して自分の志望する学校を見つけて欲しいです。

2つ目は、小論文についてです。これは文系や医療系の学部で課せられることが多いと思います。小論文を書くのはとても大変です。特に、推薦入試を受験する人は小論文指導が10月頃から始まります。この時期は毎週模試があり、とてもきつい時期になります。私は2日に1回のペースで小論文を書き、担当の先生に提出して指導していただきました。毎日3時間程度しか寝られずきつかったです。今年を受験生もとてもきついと思いますが、小論文をサボらずしっかり取り組んでください。毎日書くぐらいたくさん書いて、わからないことは全て担当の先生に質問してください。反省点を次に活かしていくと、上達していくと思います。

3つ目は、私が進学する好生館看護学院を受験する人に向けてです。看護志望の人でここを受ける人がいると思います。私は対策として、基本的なことですが、過去問を解いて間違った問題や分からなかった問題の類似問題を問題集から探して、自力で解けるようにしていきました。また、面接の対策としてはよく聞かれる質問を調べて、自分の答えを箇条書きで書いて、文章で覚えられないように気をつけました。これは、答えに詰まったときに、丸暗記で何も答えられないのを防ぐためです。自己分析をしっかりして答える練習をたくさんしてください。

最後になりますが、受験はとても大変です。私は推薦入試と共通テストで失敗しています。皆さんも上手くいかないことがたくさんあると思いますが、目標に向かって進んでください。応援しています。

「ハクナマタタ」

熊本大学・工学部・材料応用化学科

古川優花

私が受験を経験して学んだことを私なりに伝えたいと思います。皆さんの受験に少しでも役立てば幸いです。

まず、勉強についてです。私は勉強をする場所が重要だと考えます。自分が1番集中できる場所を見つけてほしいです。特に私のように家にいるとダラダラしてしまう人には特にオススメします。例えば学校なんてぴったりな場所です。他にも塾の自習スペースや図書館、中原庁舎もいいと思います。場所を変えてリフレッシュすることで、より集中力が高まると思います。

次に、進路決定についてです。私が将来やりたいことを見つけたのは2年生の3月です。それまでは、なんとなくとりあえず大学に行けばいいやと考えていました。そのきっかけとなったのは校外でのセミナーに参加したことです。そこで元々好きだった化粧品について深く知りたい、自分で作りたいと強く思い、今の進路に決めました。皆さんにもまだ将来やりたいことがよくわからない人が沢山いると思いますが、何がきっかけになるかわかりません。ですから、色んなことに挑戦し、多くの人と話すことが大切です。

最後に、推薦入試についてです。私が受験した熊本大学工学部では、共通テスト900点、志望理由書を元にした面接と口頭試問200点の合計1100点満点で合否を決定する形式でした。私が1番苦労したのは志望理由書を書くことです。私は、自分の気持ちを文章にまとめることが苦手であったため、先生にアドバイスをもらいながら何度も何度もやり直しました。しかし、この過程で自分自身を客観的に見つめ直すことができ、自分の将来の夢について深く考えることができました。このことは面接練習でも役に立ちました。受験当日は、ものすごく緊張しました。ですが、自分の中で大学でやりたいことや将来の夢があったのでそのことをしっかり大学側に伝えることができ、合格に繋がったと考えます。また口頭試問は物理と化学で受験しました。口頭試問については、先輩方の受験レポートをよく読み、傾向を読み取ることが大切です。口頭試問は筆記試験とは全く違い、とても苦労しました。練習では教科書の基本的な問題ですら、頭が真っ白になり答えられないことがほとんどでした。当日は緊張もあり、普段の実力が出せないので練習は度が過ぎるほどやるべきだったと後悔しています。試験内容に口頭試問がある人は友人や先生方にどんどん問題を出してもらって口頭試問に慣れることを優先して行って下さい。

最後にまとめると、

- ・勉強に集中できる場所を見つける
- ・何にでも挑戦し、自分の視野を広げる
- ・自分を客観的に見つめ直す

この3つを受験に活かしてほしいなと思っています。

長くなりましたが、受験はきついことばかりですが、支えてくれる人はたくさんいます。いっぱい迷惑かけて下さい。ある先生が教えてくださった「ハクナマタタ」(なんとかなるさ)という心意気で受験を楽しんでください。応援しています。

「伝えたいこと」

久留米大学・医学部・看護学科

守田優月

私が受験勉強を通して大切だと思ったことを話したいと思います。

1つ目は、先生方を頼るということです。私は3年まで将来の夢がはっきりと決まっていなかったため、志望校も迷っていました。そのような時、担任の先生は何度も相談に乗って話を聞いてくださったり、アドバイスを下さったりと、私の進路について真剣に考えてくださいました。また、各教科の担当の先生は、答えのない過去問を持っていてもしっかり解説して下さったり、質問をすると、昼休みや放課後の時間を削って一生懸命に教えてくださいました。また、毎日のように面接や小論文の指導もしてくださいました。先生方のサポートがなかったら、私は絶対に合格することができていなかったと思います。皆さんも、勉強や進路のことで悩んだ時は、迷わず先生方を頼ってみてください。必ず皆さんを支えてくれます。

2つ目は、勉強に集中できる場所と時間、そして仲間を見つけるということです。まずは場所についてです。私は家にいると何かと気が散ったりして中々集中することができなかったので放課後は学校が閉まるまで教室に残ったり、休日は近くの図書館で勉強をするようにしていました。次に時間についてです。私は夜は苦手なので、朝勉強するようにしました。学校から帰って家に着いてからはお風呂とご飯が終わり次第夜は寝るようにして、朝は3時か4時に起きるという生活を送っていました。また、電車や休み時間などの隙間時間も利用して効率よく勉強していました。皆さんも、効率よく勉強できる自分に合った時間を見つけてみてください。そして最後に仲間です。受験は個人戦でもあり団体戦でもあります。辛い時苦しい時に隣で支えてくれる仲間。あまりやる気が出ない時に隣をみると必死に頑張っている仲間。こんな仲間が身近にいるととても心強いです。そして時には自分自身がその仲間の力になることもあります。ぜひ、頼り頼られるような存在を見つけてみてください。

3つ目は、最後まで諦めないで欲しいということです。3年生になったら模試が多くなり、難易度も上がります。そして、結果が返ってくるたびに落ち込むこともあると思いますが、それでも下を見ず前を向いて努力し続けてください。そうすればいつか結果はついてきます。皆さん、自分を信じ、最後まで粘り強く頑張ってください！

最後に、私が受験勉強をしていた時の気持ちを伝えようと思います。受験生の間は周りのことが気になったり、親や先生、塾の講師の方などからの言葉でプレッシャーを感じることがありました。しかし、結局戦うのは周りの誰でもなく自分自身です。壁にぶつかり、心が折れそうになることがあるかもしれませんが、後悔のないよう自分を信じて最後まで駆け抜けてください。きっと素敵な春が待っているはずです。皆さんのご活躍を願っています。

「合格に向けた5つの取り組み」

九州工業大学・工学部・工学1類

吉田 周汰

皆さんこんにちは、九州工業大学工学部工学1類に合格しました吉田周汰です。今回は1・2年生の皆さんに受験を通して経験したことやこれからぜひやってほしいことを5つお伝えしたいと思います。1つ目は学習についてですが、日々の努力を惜しまないでほしいことです。学習を開始する時間、終了する時間を固定し毎日少しずつ地道にやり続けてみてください。さらに、模試の結果などから自分の苦手な分野が何であるかを分析し、いつまでにそれをやるかの学習計画を立ててから学習に取り組んでほしいです。しかし、人はずっと100%の力を出すことはできないので、ぜひ月に3回はオフ日を設け、自分の趣味の時間にしてください。2つ目は素直さを大事にしてほしいことです。今後、先生方からのアドバイスを多く受けるとと思います。先生方はこれまでの多くの経験を持っていらっしゃるので様々な知識や入試の情報を得ることができ、先生方からのアドバイスをすぐにやってみることで、必ず自分の力になるとと思います。3つ目は自分を信じることです。3年生の10月は毎週のように模試があり、次々と結果が返ってきて、その結果が悪い時もあると思います。そういう時でも、自分のやってきたことを信じて、やり続けてください。また、入試本番でも、緊張や不安を感じると思います。そんな時でも自分を信じれば、自分の力を最大限に発揮できると思います。4つ目は、様々な入試方式を調べることです。私は共通テストを使う学校推薦型選抜で合格しました。他にも総合型選抜などがあり、自分に合った方式を選ぶことができます。入試方式の選択肢を増やすために自分の強みを一つでもいいので作ると思います。また、英検を積極的に受験してほしいです。大学によっては共通テストの英語の点数や二次試験の英語の点数に利用することができ、他の人と差をつけることができます。5つ目は推薦と一般のそれぞれの対策についてです。推薦については、志望理由書が必要になることがあります。志望理由書を書くためには多くの材料が必要なので、早めに材料を集めておいてください。例えば、自分の志望分野に関する活動に参加したり、大学の特徴、研究内容、アドミッションポリシーなどを調査したりするとよいと思います。一般は、1・2年生のうち記述の対策をしておいてください。3年生になると、共通テストの対策が多くなり、記述の対策をする時間があまりありません。具体的には、記述模試の分析や解きなおし、授業中の演習問題の解きなおしを時間内に解き切るまでしてほしいです。マークについては、問題傾向をつかみ、自分なりでもいいので解き方を習得してください。最後に、これからも部活や勉強で忙しいと思いますが、最後まで自分や先生方を信じて頑張ってください。皆さんが合格できるよう応援しています。

「目標に向かって」

熊本大学・工学部・材料応用科学科

今村 彩乃

私がまず皆さんに伝えたいことは、とにかく復習を徹底して欲しいということです。予習は出来たらいいくらいの気持ちで構いません。私の体験談ですが、先生方が授業で配ってくださる問題等を最低でも 3 回は解きなおすことで、考え方を定着させて成績を伸ばすことが出来ました。解きなおしは 3 回は限らずとも、自分だけの力で解けるようになるまでやるのが大事だと思います。基礎をやり込むことで幅広い応用問題への対応が可能になります。もちろん自分で参考書を買って解くのもいいのですが、まずは授業の内容を完璧にすることが最優先です。参考書を購入する場合は、多くを買うのではなく、ひとつのものをやり抜くと力が付きやすいように感じます。

もうひとつ皆さんに伝えたいことがあります。1, 2 年生のうちから英単語は覚えておいて欲しいということです。部活で忙しく、勉強時間が確保できない人も多くいると思いますが、そんなときはぜひ隙間時間を活用してください。電車に乗っているときや夕飯前など、10 分程度でいいので単語帳を見てください。単語は覚えたと思っていてもいつの間にか記憶から抜けている強敵ですが、覚えてしまえば心強い味方です。長文を読むとき、文法が分からなくてもとにかく単語の意味を取っていけばおおむねの内容はわかります。毎日の隙間時間の活用は、自然と勉強習慣もつくのでおすすめです。

また、受験で一番怖いのは焦って簡単な問題を落とすことです。私は本番の時、休憩時間に音楽を聴いて心を落ち着かせてから臨みました。皆さんも当日に実践可能なリラックス方法を見つけおくと安心できると思います。

受験は本当につらいことが多く、何度もくじけそうになると思います。すでに合格している友達を見て不安を感じることもあると思いますが、今までの自分を信じて諦めずに頑張ってください。その経験はきっとこれからの人生に繋がるはずです。皆さんの合格を心よりお祈りしています。

「止まない雨は無い」

佐賀大学・農学部・生物資源科学科

岡 美里

私は前期試験で佐賀大学の農学部合格しました。正直、効果的な勉強法は人それぞれ違うので、時間があるうちは手当たり次第色々な勉強法を試してみるのがいいと思います。そこで、私からは志望校決定や受験に対する心構えといった視点からの話をさせていただきます。

皆さんは将来やりたいことは決まっていますか？私が高校一年生の時は、やりたいことが多すぎてなかなか1つに絞ることが出来ず、志望校決定に苦労した覚えがあります。実際に、1年生の時の志望校を振り返ってみると、文学部、理学部、工学部、薬学部、農学部…など、ほぼ全ての学部を志望していた記憶があります。ですが、今振り返ると、早いうちから学部を絞らなくて良かったと思っています。なぜなら、色々な学問に関心を持つことで、第2志望以下の大学・学部への想いを強く持つことが出来たからです。

実は、元々、私の第1志望は九州大学の共創学部でした。高校3年間で脳に関する研究活動を行っていたため、多角的な分野からストレスについてアプローチしたいと考え共創学部を強く志望していましたが、化粧品開発にも興味があったので、第2志望に佐賀大学の農学部を設定していました。

そして、3年生になり、共創学部を目指して勉強に取り組んでいましたが、思ったように成績が伸びず、最後の望みとして挑んだ推薦入試も不合格となってしまう、第2志望である佐賀大学農学部を受験することにしました。第1志望を諦めなければならなかった時、正直とても悔しかったです。ですが、最後まで気持ちを切らさずに勉強をし続けられたのは、第2志望校に対する強い思いでした。佐賀大学農学部合格して、みんなに使って貰えるような化粧品を作るんだ！という思いのおかげで最後まで走り抜き、前期試験で合格することが出来ました。

この経験から私が皆さんに伝えたいことは、第2志望以下もしっかりと考えて決定して欲しいということです。大学受験において、必ずといってぶつかる壁は志望校との成績の差です。どれだけ努力しても、受験校を変更することがあるかもしれません。そんなときに、勉強に対するモチベーションを支えてくれるのは受験校に対する情熱です。第2志望以下をしっかりと考えていれば、万が一、受験校を変更することになっても、気持ちが切れることなく勉強し続けることができます。受験を最後まで走り抜くためにも、自分の興味を掘り下げて、いろんな大学を調べてみてください。

最後に、これから先、受験をするにあたって一筋縄ではいかないことばかりです。不安を抱きながら勉強を続けなければなりません。その間は本当にきつくて長くてうんざりします。「止まない雨は無い」という言葉がありますが、当時の私は、「今降ってるこの雨が耐えられないの！」って思っていました。ですが、1日1日、やるべきことをしっかりとこなしていたら案外すぐ止みました。受験はきついだけではなく、自分の成長にも繋がります。

ます。自分のことを信じて最後まで走り抜きましょう。大丈夫です、みなさんなら乗り越えられます。

「伝えたいこと」

九州工業大学・情報工学部・情報工学3類

最所 侑雅

このような合格体験記を書くことができることを大変嬉しく思います。私からは受験を通して感じた自分なりの受験で大事なことを皆さんに伝えたいと思います。

まずは、英検についてです。私は正直、英検を軽んじていたかもしれません。結局英検を取得できず(共通テストの)本番一発勝負となり、とても緊張しました。英検を持っていると時間や気持の面でも余裕が出てきて受験を優位に進められると思います。ですから、志望校が英検を活用できる場合は、私を反面教師に、ぜひ英検を取得出来るよう頑張ってください。

次は自宅での勉強についてです。友達とゲームをするのが大好きだった私が受験期にゲームをすることなく勉強が当たり前になっていたのは、私に合った勉強方法を見つけたからだと思います。たくさんの制約があった受験でしたが、当時は苦ではありませんでした。勉強方法は人それぞれで、正解はないと私は思います。自分に合った勉強法をまだ見つけていない人は、早く見つけてほしいと思います。

次は、モチベーションについてです。模擬試験で努力が結果に表れず、モチベーションがなくなる人もいるかもしれません。私の体感ですが私の周囲の数人も夏をピークにだんだんとやる気が下っていたように感じます。「夏は受験の天王山」とよく言われ、冬は直前期なので、夏と冬には受験生みんなが頑張ります。ですから、周りとの差を縮めたい人、差をつけたい人は秋が大切だと思います。養基祭など勉強以外のことも大事ですが、自分が受験生だということを念頭に置いて楽しんでください。参考になればいいですが、私はYouTubeで「合格発表の時間」を見てモチベーションを上げていました。

最後に私のおすすめの参考書を挙げて終わります。

- ・「漢文早覚え速答法」田中雄二著 学研プラス社
 - ・「漆原晃の物理基礎・物理が面白いほどわかる本」漆原晃著 KADOKAWA 社
- 皆さんの健闘を祈っています。

「心に留めてほしいこと」

広島大学・教育学部・第3類国語文化系コース

秋吉 かえで

私が大学受験を経験して、皆さんに伝えたいことは二つあります。

一つ目は、仲間の大切さです。「受験は団体戦だ」という言葉を聞いたことがある人もいます。受験勉強は正直に言うときついです。やめたいと思うこともあると思います。そんなときに自分を奮い立たせてくれるのは一緒に勉強している友達やクラスメイトの存在です。周りが一生懸命勉強していると自分も頑張ろうという気持ちになれます。また、きつい気持ちを友達と共有することでネガティブな気持ちを減らすこともできます。みんなそれぞれの夢に向かって勉強を頑張っている仲間だという意識をもって、学年全体で勉強しやすい雰囲気を作っていきましょう。仲間というのは友達だけではなく、皆さんに勉強を教えてください先生方ももちろん全員が皆さんの味方です。先生方に目一杯頼ってください。勉強を教えてくださいるのはもちろんのこと、精神面でも皆さんをたくさんサポートしてくれます。

二つ目は、基礎学習をしっかり身につけてほしいということです。一、二年生のうちは受験をあまり身近に感じられず、勉強に身が入りにくい人も多いのではないのでしょうか。私もそうでした。しかし三年生になって、基礎がわかってないことに気づき絶望しました。わかっていないことに後から気づくと、とても焦ります。授業で習っているうちにわかっていないところを減らすように心がけてください。

進路先を選ぶことは人生において大きな選択です。悩むこともたくさんあると思いますが、たくさん考えて自分で決めた進路であればためらわないで進んでほしいです。挑戦することで得られることはたくさんあります。たくさんの方が笑顔で高校生活を終わられることを願っています。頑張ってください。

「受験を通して」

佐賀大学・経済学部・経済学科

長野 佑威

私は、3年間ずっと進学先を決められずにいたことや、公募推薦入試で落ち、共通までに残された1か月の時間を死ぬ気でやりきったことや、入学時は県で1500番台だったのが最後には300番台まで成績があがったことなど様々な経験をしました。この経験からみなさんに、個人的な進学先決定方法や時間の使い方、勉強法の3つを伝えます。

まず、進学先決定についてです。大学は本当にそれぞれで学部・学科や入試制度、共通テストの配点、必要な教科、選択可能な教科、立地、雰囲気、教授などが異なります。今あげた項目以外にも様々な違いがあるのでまずはそれを知ることが一番大事です。例えば、「〇〇大学は自分には無理そう」と思っているでも調べてみると、二次の配点が大きく、二次の科目が自分の得意教科だった場合十分に合格の可能性はあります。まだ志望校が決まってない人はたくさん調べてみてください。そして、上で述べたような項目から自分はなにを優先するかを決めましょう！1, 2, 3年生関係なく皆さんまずは夏休みのオープンキャンパスには何校も行ってみましょう！

次に受験期の時間の使い方についてです。受験期は長く、きついです。きついことを避けることはできません。ですが、自分だけがきついわけではなく、全国で同じような人がたくさんいる中の一人なので周りの人と切磋琢磨してこの1年は受験だけ考える気持ちで取り組んでください。また、受験期は本当に時間が足りないと何度も思います。その中で授業が受験勉強の大半を占めているので、授業を全力で取り組んでください！私は休み時間はたったの10分ですが一日で合わせると約1時間あり、通学時間と合わせると2時間ほどの時間があったので、その時間を利用して暗記事項を繰り返し勉強していました。休みは必要ですが、余裕があるときはぜひシスタンなどを見て過ごしましょう。

3つ目に勉強についての個人的なアドバイスです。まず身の回りの環境を整えましょう。私も部活引退後に部屋の掃除を行ってから家で長時間集中して勉強に取り組みました。次に、授業は先ほど言ったように受験勉強の大半を占めるので寝ることや休んで受けられないことは誰にだってあります。そこからが大事です。必ずその分の授業ノートは友達に見せてもらい、内容を理解して次のその授業を迎えてください。私は部活が終わるまではテスト期間しか勉強をしていなかったですが、授業内容での「分からない」を必ずつぶしていました。暗記事項はまずは覚えなれないといけないので他人からみるとめちゃくちゃなやり方でも自分なりに覚えられれば良いです！私も覚え方の語呂やあてつけがめちゃくちゃなので他人には知られたくない方法でしたが、定期テストは平均90超えをとれていたの自分なりに大丈夫です。

まだまだ伝えたいことがあります。最後に、英検は絶対英語が得意じゃなくても受けること、スマホのコントロールも必ずしてください。最後まで頑張ってください！応援しています！

「後悔したこと」

佐賀大学・経済学部・経済学科

鶴田 さくら

私は受験を通してやっておけばよかったと後悔したことを2つ皆さんに伝えたいと思います。

1つ目は、将来について考えることを避けてきたことです。私は推薦入試で佐賀大学に合格することができました。推薦入試は一般入試より出願が早いので、その分早く志望校を決めることとなります。ですが私は、1・2年生のうちに将来自分が何をしたいか全く考えていなかったため、受験直前まで志望校も志望学部もはっきりしていませんでした。時間があるうちから、自分はどんなことに将来関わりたいか、を少しでも考えていればよかったと思いました。志望学部や大学、将来したいことなどがまだ決まっていない人は、自分が興味あるものから将来の目標を少しずつ見つけていってください。

2つ目は、受験勉強を始めるのが遅かったことです。私は、部活を引退するまで家での勉強時間は、テスト期間を除いてほぼゼロに近かったと思います。部活を言い訳にして勉強から逃げていました。普段から勉強から逃げていたことが受験モードに切り替えるのが遅くなった原因の一つだと思います。1・2年生の時から勉強を習慣化していれば、もっと早くから受験モードに切り替えられていたと思います。明日からやろう、次から頑張ろうと考えている人は、今すぐに始めてください。

ここまで後悔したことを伝えましたが、やっておいてよかったと思ったこともあります。それは、定期テストはしっかり取り組んでいたことです。定期テストの点数は評定にも影響するので、怠けずしっかり取り組んでください。

本格的に受験が始まったときに、私のように、やっておけばよかったと後悔することがないように考えたことはすぐに行動に移してみてください。

受験はきつい瞬間があると思いますが、最後まで、自分に負けず頑張ってください。

「最適な勉強法とその環境について」

山口大学・国際総合科学部

古川 みなみ

突然ですが皆さんは自分なりの勉強方法がありますか？そしてそれは自分にあっているといえますか？効率が良いですか？私は勉強をするときこういうことを考えていました。

高校1年生の最初の定期テスト、勉強の仕方が分からず悲惨な結果でした。このままではだめだと思った私は頭のいい友達の勉強の仕方を真似したり、ユーチューブで勉強の仕方を探したりして定期テストで試していました。例えば暗記物は書くのは効率が悪いので(漢字や二次試験対策は別)声に出しながら指でなぞりながら寝る直前行っていました。五感を使って覚えるとよいそうです。また規則正しい生活をと言われるかもしれませんがどちらかというと夜型人間だったので次の日に支障が出ない土曜日に0時から3時の間にぶっ通しで好きな日本史や現社をしていました。私にとってその時間が一番楽しく勉強できて集中できる時間帯だったからです。あれがいいこれがいいといろいろな勉強方法がありますが、すべて自分にあうとは限りません。定期テストを通してできるだけ早く自分にあった勉強方法を見つけてください。

次に勉強する環境です。集中できる場所を探して図書館やファミレスで勉強しましたが、やっぱり学校が一番です。放課後残るのはいいとして休日に学校行くのは効率が悪いのでは？と思った人もいるでしょう。私もそうでした。家で集中できればいいのですが、できない私には学校が一番効率がよかったです。家じゃ集中できない人におすすめです。

それから河野玄斗さんの10時間勉強動画を流しながら勉強するのもおすすめです。一日の目安に対して自分が今何時間勉強しているのかはっきり分かるし、画面の向こうに頑張っている人がいると自分も頑張ろうと思えるからです。

最後に私は3年の10月、11月の模試では点数はほとんど変わらず上がったと思ったら急に下がるを繰り返していました。12月になってようやく少しずつ上がり本番の共通テストで自己最高点数を40点上回る点数を取ることができました。受験は最後までどうなるかわかりません。まだ受験勉強を始めていない人は自分の将来の目標のために今日から頑張ってみませんか？皆さんが希望通りの進路に進めるように応援しています。あきらめずに頑張ってください！

「受験を通して伝えたいこと」

長崎大学・環境科学部

梁井 千帆奈

私は推薦入試で第一志望の大学に合格しました。受験を通して皆さんに伝えておきたいことが二つあります。

一つ目は3年間を通して定期テストや模試に向けて精一杯取り組むことです。それが自分の進路を決める際の選択肢を大きく広げることに繋がります。また定期テストや模試の勉強は範囲が限られているため、出題される分野だけを集中的に学習できます。そのため、一つ一つの分野を完璧にするという気持ちで取り組んでいけば、幅広い範囲が出題される受験に対応する力を身につけられると思います。

二つ目は進路を決める際は様々な視点から徹底的に調べることです。私には1年生の時から第一志望にしていた大学がありました。その大学は先生に勧められ、なんとなくで第一志望にしていたため、あまり勉強に身が入っていませんでした。しかし、高3の夏、いよいよ進路を確定しなければならない時期となり、私は実際にその大学を訪れてみました。大学内に入ってみると、直感的ではありますが「私の大学はここではない」と感じました。そこからもう1度自分が本当に行きたい大学はどこなのか調べ始めました。最初は自分の興味のある分野もどんな学部があるのかも全く分からず、とても焦って何日も調べ色々な人に相談をしました。そんな私でも最終的に1年生のときから第一志望にしていた大学を変更し本当に行きたいと思える大学を見つけることができました。1, 2年生の皆さんはある程度進路を決めている人や、まだまだ迷っている人もいると思いますが、私のように「なんとなく」や「勧められたから」で決めず、たくさん悩んで自分のペースで本当に行きたい進路を見つけてください。

最後に大学受験は私にとって先が見えず、不安と焦りでいっぱいのもとても苦しい時間でした。思うように成績が伸びなかったり、不安な気持ちが溢れて泣いてしまったりすることもたくさんありました。そんな時、家族や友達、先生方に励ましていただき、たくさん支えられました。受験は辛いことが多くありますが、そこで頑張った分、大きな喜びとなって自分に返ってきます。まだ受験に対して実感がわからない人もいると思いますが、まずは自分のペースで少しずつ頑張ってみてください。応援しています！

「めんどくさいけど、やるしかない。」

中村学園大学・流通科学部

弓 大倫

皆さん。こんにちは！

皆さんが勉強を行う中で、僕が伝えておきたいことを今から紹介したいと思います！

一つ目は、僕自身が一番大事していたことで、分からなかったら、一人で悩まず友人や先生方に質問をどんどんしたほうがいいということです。実際に僕は、ほぼ毎日のように先生に質問に行き行って行きまくりました。正直質問に行き過ぎて扉をノックするのが気まづくなるくらい行きました。それでも先生方はめんどくさがらずにわかるまで何度も丁寧に教えてくれます！けど、中には先生に質問するのは、勇気がいる子もいるかもしれません。やらない後悔よりやって後悔という言葉がありますが、そのままですが痛いほどわかりますよね、是非勇気を出してみてください。その小さな行動は、皆さんにとって得でしかありません。

二つ目は、何度も言われていてわかっているとは思いますが、英語は、毎日欠かさずやるということです。特に単語に関しては知らない単語がないというくらい覚えてください。長文は単語がわからないと話になりません。実際僕も英語が大の苦手で単語を全然覚えてないときは、何が書いてあるか全く読めませんでした。単語を覚えたら、すらすら読めるようになり、模試の得点がグンと上がりました。僕は範囲を決めて毎日50単語テストをしていましたが、最初は、30単語テストからでもいいと思います。おすすめは、勉強を始める最初の時間です。単語はスキ間時間をうまく活用してください。電車の移動時間や、休み時間に見たりするだけで格段に覚えられます。特に電車通学の人はいかにスマホにくぎりをつけるかがカギです。僕もかなり苦戦しましたが、頑張ってください！英語は単語を覚えるだけで見える世界は格段に変わります。継続ほど難しいものはありませんが、乗り越えてください！

三つ目は、模試の後は必ず復習をすることです。これ以上ためになる勉強はありません。僕自身復習が大嫌いで模試を解いても解きっぱなしにしていました。しかし、模試の後の復習をし始めたら、分野ごとに自分の弱点を見つけられるし、少しずつですが、分からないところが減ってきて次の模試などで出たとき解けるととても実感を得られます。皆さんが思っている以上に復習は大事な勉強です。特にやり直しは課題だから、しょうがなくやる、解説を丸写ししたい気持ちはすごくわかりますが、まずは、間違えたところ全部しなくてもいいから、一問からでもいいからぜひ、自分なりの復習を始めてみて下さい。復習こそが得点アップの最大の近道です！

まだまだ、伝えたいことはたくさんありますが、最後に、これからの頑張りは自分次第で、まだまだどうにでもなれるということを忘れないでください。

皆さんの合格と活躍を願っています。僕の恩師が僕に贈ってくれた言葉を皆さんに贈ります。「ハクナマタタ」

「受験で大事なこと」

福岡大学・経済学部・経済学科

吉田 蒼汰

私が、大学の受験において大事だと思ったことを紹介します。

一つ目は、「自分の本当に行きたい大学を決めること」です。私は、福岡大学の推薦入試で不合格でした。しかし、その大学に行きたいという気持ちがあったので最後まで頑張ることができ一般入試で合格できました。ですから、今の余裕がある時に進路についてしっかりと考えてください。

二つ目は、「勉強の目標を決め計画をしっかりと立てること」です。例えば英語では一週間間に英単語や参考書をここまで覚えるというのを各教科ごとに決めてから勉強に取り組むことで、今日は何をしないといけないのかが分かっているので、効率的に取り組むことができました。その時に注意してほしい事は、目標を低くしすぎずちょっと無理じゃないかというぐらいの目標を立てることです。そうすることで家や学校でのちょっとした時間でも勉強をする習慣を身に付ける事ができました。

三つ目は、「一緒に勉強を頑張る友達を見つけること」です。なぜならお互いに高めあえるからです。一人で勉強のモチベーションを保つのは難しいと思うので大事です。私はモチベーションが下がった時に何度も助けてもらいました。

最後に私は、七月の中旬に部活が終わって八月から本気で勉強を始めました。部活動をしている人は両立が難しいと思っている人もいますが、定期考査をしっかりと勉強をしておくことで、入試勉強にもスムーズに取り組むことができると思います。

大学受験が高校生活の中で一番勉強すると思います。周りで支えてくださる先生や友達に感謝の気持ちをもって受験を頑張ってください。

「実体験を踏まえた3つの伝言」

長崎大学・経済学部

今村 謙心

私は一般受験で長崎大学の経済学部にて現役で合格することができました。その実体験を踏まえて私は皆さんに三つ伝えたいことがあります。

一つ目にこれから勉強をしたいけど何をすればよいかわからないひとへ、まずは文理系を問わず英語を勉強しましょう。英語は様々な入試で必要となっており、また実力の向上が遅い教科でもあります。英語においてもっとも重要なのは英単語であり、英単語の勉強は毎日のノルマを決めるのがおすすめです。私は一日百単語を毎晩音読して翌朝テストを行っていました。

二つ目は常に自分の課題と向き合うことです。模試というのは何となく受けていても意味はありません。まず受ける前には前回の模試や普段の勉強から苦手なところを把握してから模試に臨みましょう。そして受けた後の模試の復習は自分ができなかった所と併せて、苦手なところできたかの確認をする癖をつけましょう。このように模試を通じて自分のできるところを着実に増やしていくことが重要です。私は英語の模試が終わった後はわからなかった単語すべてにチェックをつけて次の模試前にそれを見返していました。

三つめに勉強の仲間を作ることです。私は三年生の時は五組でしたがそのクラスは推薦入試を選択する人が多く自分の受験に対する悩みを共有できる友達はあまりいませんでした。そのような状況でも勉強に集中できたのは一緒に勉強をする友達がいたからです。また私の勉強仲間には学年トップがいたので毎回刺激をもらえました。

最後に受験は全員の当初の希望通りにいくなんてことはありません。実際私も三年当初の第一志望に受かることが出来たわけではありません。しかしこれから受験終了までの間の勉強は全力でやっていると胸を張って言えることが出来れば後悔なく受験を終わらせることが出来ると思います。皆さんも三年生のこの時期に後悔をしないように早めに受験勉強に取り組んでみてください。これからの皆さんの受験生活を応援しています、頑張ってください。

「伝えたいこと」

西南学院大学・外国語学部

長 采美

私は西南学院大学に推薦入試で合格しました。皆さんの中には、推薦入試で受験をしようと考えている人もいます。まず、推薦入試で受験をするためには評定が一番大切です。そのためには、今のうちからコツコツ勉強することが大切だと思います。そこで、私からは部活動と勉強の両立について、やってよかったことについて伝えたいと思います。

まず初めに、部活動と勉強についてです。私のおすすめは、マイルールを決めることです。ルールを決める際のポイントが2つあります。一つ目は、最初は「シスタンを毎日5分やる」など簡単に達成できるルールにすることです。そうすることで、勉強することが苦になりにくく長期間継続できると思います。二つ目は、オフの日を作ることです。毎日続けていたら息苦しくなって、やり続けることが嫌になってくると思います。しかしオフ日があれば、その日まで頑張ろうという気持ちが湧き出て、モチベーションを維持できると思います。ここで参考程度に私のマイルールを紹介します。

毎日最低 30 分勉強する→1 週間、一か月続ける→少しずつ時間を増やす→繰り返し
最初は毎日継続することが大変だと思います。私も最初はなかなか続きませんでした。しかし、「継続は力なり」の言葉の通り、続けていればそれが成績の向上につながったり、自分の強みになったりすると思います！正直、部活が終わって家に帰ったら、疲れて勉強に手が回らない人も少なくないと思います。マイルールを決めていれば、やる事が決まっているので、これだけしたら寝よう！という気持ちになれると思います。ぜひ試してみてください。

次に、私がやってよかったことについてです。私がやってよかったと思うことは、先生方や友達のアドバイスを聞き、実際に試してみることです。私がマイルールを決めるようになったきっかけも、ある先生からのアドバイスです。人それぞれ勉強の仕方は違うので、人から聞いたアドバイスが自分に合うかはわかりません。皆さんの中にはまだ自分に合う勉強法が見つからないという人もいます。そのため、先生方や友達から聞いたアドバイスを一度やってみるのもいいと思います。もしかしたら、それが自分に合うやり方かもしれません。

最後に、勉強が苦手な人も、部活で忙しい人も、課題や定期テスト前の勉強くらいはきちんとやっておきましょう！そして、勉強はやろう！と思った時がチャンスです。やる気が出たら、先延ばしにせず机に向かってみてください！高校生活は勉強・部活・遊びなどやるべきことが多く、忙しい日々だと思います。だからこそ、今を全力で1日1日を大切に頑張ってください。陰ながら応援しています。